

2018 年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録1 限目》

《講座のメインテーマ》

**防災・減災は地域の取り組みが
決めて！その具体的な進め方**

記録：講座協力委員 佐藤忠文

◆開催月日：2018 年10月 11 日(木) 13:30~17:00

◆開催場所：KU ポートスクエア

◆本日のテーマ◆ **・前半：地域全員の安否確認を短時間で実現する方法、その他実践事例を紹介**

講師：片山 晋氏（横浜市磯子区三井杉田台自治会 防災顧問）

・後半：『6 グループに分かれた討議』

講座参加者の自己紹介と「我が地域防災力の課題」について意見交換

進行：山口 章氏（横浜市緑区白山地区連合自治会 会長）

《安否確認 杉田台自治会の取り組み》

- ・以前は役員や民生委員で安否確認を実施時間がかる、漏れが出る。
- ・今は全ての家庭が5軒の安否確認を行い、安否確認表に記載し班長経由自治会へ報告。
30分以内に全世帯が近隣5軒を訪問し安否確認



講師：片山 晋氏



《実践的防災訓練など事例紹介》

- ・防災カルタ活用、近隣の顔の見える関係作り訓練
- ・リアルタイムでの不意打ち訓練
- ・防災ゲームによる災害発生時の疑似体験
発災直後行動ゲーム (J-DAG) ほか

《ポイント》

- ・大地震は 100% 来る。
発災直後の行動が最も重要。
安否確認、救助活動、初期消火活動
- ・災害時の全ての行動は情報から始まる。



アイスブレイク 《トイレtpaper編》

自宅用のストックはどれくらいありますか？
家族4人で1か月に10個強使用（3.11では流通復旧に2~3ヶ月）
凝固剤・消毒薬・ビニール袋などのストックも忘れずに
担当：田中喜代美さん



後半担当：山口 章氏

後半：『6 グループ討議』・グループ単位で『我が地域防災力の課題』等について討議



《主な課題》

- 顔の見える関係作り？
- 子育て世代の参加？
- 高齢化・人不足？
- 要支援者の把握？
- 防災活動ツール？
- 帳票？

ご挨拶：片山 晋（防災塾・だるま副塾長）

- ・「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」は、神奈川大学と防災塾・だるまの共同企画
- ・当初の初日講師荏本孝久氏（神奈川大学工学部教授 防災塾・だるま塾長）、急用でカリキュラムを変更
- ・防災塾・だるまメンバーによる講座運営委員会で具体化し今年で、13 回目を開催。
受講者は 36 名



リーダー：片山 晋さん 総合司会：山田美智子さん 世話役：早川雅子さん